

## 2024年度

### 桑名病院院内保育所 はあとナースリー 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月12日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添うこと。子どもと同じ目線に立ち、気持ちを汲み取ることの大切さを園内研修で全職員が改めて学び、保育園作りをしていくようにした。
子どもの発達援助	子どもの月齢に合わせた成長過程を踏まえ、保育計画を立案し、日々の保育を行った。計画に捉われず、その時々の子どもの想いを大切に柔軟な保育を心掛けた。今後も子どもの成長・発達や興味・関心に沿った保育をしていきたい。
保護者に対する支援	送迎時や連絡帳の日々のやりとりを通して、子どもの様子や成長した姿を丁寧に伝えるように意識した。また玄関に保育の写真を掲示することで、一緒に喜びを共有することができた。
保育を支える組織的基盤	園内研修や職員会議で日々の保育を振り返る機会を定期的に設け、スキルアップを図った。学んだ内容、反省を生かし、更なる自身の成長に繋げていく。

総評
子どもたち一人ひとりの成長・発達を理解し、気持ちに真摯に向き合い受け止めながら関わることで、成長へ繋げることができた。保育の質の向上に向け、少人数ならではの良さを活かし、子どもの日々の様子や望ましい関わりについて全職員で常に共有を図り、振り返りと見直しを行う機会を設けた。次年度もその姿勢を忘れずに、職員全体のコミュニケーションを大切に、同じ温度感で保育に向き合っていけるよう努めていきたい。